

## 平成 24 年度事務事業評価調書

事業コード	01030402	区 分	■ 実行 □ 経常
事務事業名	救急安心センター運営事業	担当部署名	総務課総務グループ
		作成責任者職氏名	課長 川口充弘
		内線	230
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)
	01安全・安心・環境	03消防・救急体制の充実	04救急救助体制の充実
実施期間	□ 単年 ■ 継続 ( 年度～ 年度)		実施方法 □ 直営 ■ 委託 □ 補助等
根拠法令等	□ 有 ■ 無	法令等の名称	— 義務付け □ 有 ■ 無

### I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>村民の日常生活において緊急時の救急医療相談を行うことにより、安心して暮らせる環境の維持に努める。</p> <p>②内容</p> <p>救急医療に関し、24時間365日体制で電話受付を行う。</p>	<p>村民</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>村民の安全・安心な生活環境の確保</p>	

### II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
		22 年度	23 年度		24 年度	25 年度		
		実績	事業費(予算)	実績(見込)	事業費(見込)	事業費(見込)		
事業費(見込含む)(千円)(A)		178	180	173	180	180		
財源内訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
	一般財源	178	180	173	180	180		
人件費	一般職員所要人員(人)(B)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	62	62	62	62	62		
総コスト費(千円)(A+C)		240	242	235	242	242		
人口あたりコスト(円)		39	39	38	39	39		
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	23 年度			24 年度	25 年度
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	相談日数	日	365	365	100%	365	365
②	目標指標							
③	目標指標							

### III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	村民の日常生活において緊急時の救急医療相談を行うことにより、安心して暮らせる環境の維持に貢献している。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	村民の日常生活において緊急時の救急医療相談を行うことにより、安心して暮らせる環境の維持に貢献している。
③効率性 ※効率的に進められているか	4 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	24時間相談業務を委託していることから効率的である。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	4 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	全村民を対象としており公平である。

○事務事業評価値 (①~④の合計/16) **16** / 16 **100%** (B)

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
100%	100%	100%	a a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)

### IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
B	
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
緊急時の救急医療相談を行うことにより、村民が安心して暮らせることから、引き続き実施すべきと考える。	

### V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
緊急時の救急医療相談を行うことにより、村民が安心して暮らせることから、引き続き実施すべきと考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
緊急時の救急医療相談を行うことにより、村民が安心して暮らせることから、引き続き実施すべきと	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し

考える。

U  
D: 縮小  
E: 休止・廃止

(2/2)